

動物用医薬品

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
アモキシシリン	動物用医薬品	抗菌性物質	β -ラクタム系の抗菌性物質で、国内で動物用医薬品として、牛、豚、鶏及び魚類に使用されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	肥料・飼料等	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:27.10.28)
アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤(注射用ピクシリン)	動物用医薬品(再審査)	牛の注射剤	抗菌剤で、ウシの肺炎、乳房炎、産褥熱(さんじょくねつ…分娩時の傷に細菌が感染し、高熱が続く状態)などの治療に用いられています	動薬から肥料・飼料等に所管替え	動物用医薬品専門調査会にて審議中→肥料・飼料等専門調査会に移管(最近の議事:18.10.6動物用医薬品専門調査会)
アンピシリンナトリウム	動物用医薬品	抗生物質			
アンピシリン	動物用医薬品	抗生物質			
キシラジン	動物用医薬品	鎮静剤	牛及び馬の鎮静剤として用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中(最近の議事:24.5.15専門調査会)
ゲンタマイシン	動物用医薬品	抗生物質	アミノグリコシド系の抗生物質で、国内で動物用医薬品として牛及び豚に使用されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	肥料・飼料等	評価書(案)を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:26.12.5肥料・飼料等専門調査会)

動物用医薬品

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
ジシクラニル	動物用医薬品	昆虫成長制御剤	昆虫成長抑制剤で、ハエ蛆症の予防等に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	確認評価部会にて審議中(最近の議事:20.7.16)
ジミナゼン	動物用医薬品	抗原虫剤	抗原虫剤で、牛のバベシア症、タイレリア症に用いられます。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中(最近の議事:26.4.11動物用医薬品専門調査会)
スピラマイシン	動物用医薬品	抗生物質	マクロライド系抗生物質で、国内で動物用医薬品としてすずき目漁類に使用されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	肥料・飼料等	評価書(案)を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:26.9.24肥料・飼料等専門調査会)
スルファメキサゾール及びトリメプリームを有効成分とする豚の飲水添加剤(動物用シノラール液)	動物用医薬品(再審査)	豚の飲水添加剤	抗菌剤で、豚のレンサ球菌症治療に用いられます。	動薬から肥料・飼料等に所管替え	動物用医薬品専門調査会にて審議中→肥料・飼料等専門調査会に移管(最近の議事:17.8.29動物用医薬品専門調査会)
スルファメキサゾール	動物用医薬品	合成抗菌剤			

動物用医薬品

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
セファピリンベンザチンを有効成分とする製剤原料(セファピリンベンザチン「コーキン」、牛の乳房注入剤(KPドライ-5G)及びセファピリンナトリウムを有効成分とする牛の乳房注入剤(KPラック-5G)	動物用医薬品 (再審査)	牛の乳房注入剤	抗菌剤で、牛の乳房炎の治療に使用します。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準値が設定されています。	動薬から肥料・飼料等に所管替え	評価書(案)を委員会に報告することとなった。(最近の議事:22.8.25専門調査会)
セファピリンベンザチン	動物用医薬品	抗生物質			
セファピリンナトリウム	動物用医薬品	抗生物質			
セファピリン	動物用医薬品	抗生物質			
トルフェナム酸	動物用医薬品	抗炎症剤	非ステロイド性抗炎症剤で、日本国内で動物用医薬品としての承認はありません。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準(いわゆる暫定基準)が設定されています。	動物用医薬品	評価書(案)を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:28.2.19専門調査会)
ナナフロシン	動物用医薬品	抗生物質	抗生物質で、動物用医薬品として、牛の外用剤が承認されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	肥料・飼料等	肥料・飼料等専門調査会にて審議中(最近の議事:27.8.7専門調査会)
ピランテル	動物用医薬品	駆虫薬	テトラヒドロピリミジン系の駆虫薬で、馬等の寄生虫駆除に使用されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準(いわゆる暫定基準)が設定されています。	肥料・飼料等	肥料・飼料等専門調査会にて審議中(最近の議事:27.3.20肥料・飼料等専門調査会)

動物用医薬品

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
フェノキシメチルペニシリン	動物用医薬品	抗生物質	抗菌剤で、肺炎や腸炎の治療等に用いられています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動薬から肥料・飼料等に所管替え	評価書(案)を委員会に報告することとなった。(最近の議事:20.12.1動物用医薬品専門調査会)
フルメキン	動物用医薬品	抗菌性物質	キノロン系の抗菌性物質で、国内では某物用医薬品として承認されていません。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	肥料・飼料等	肥料・飼料等専門調査会にて審議中(最近の議事:26.6.4専門調査会)
プレドニゾン	動物用医薬品	消炎剤	ステロイド消炎剤で、海外及び日本において動物用医薬品として承認されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留農薬(いわゆる暫定基準)が設定されています。	動物用医薬品	委員会にて健康影響評価の審議結果了承。リスク管理機関(厚労省)に通知することとなった。(最近の議事:28.3.8委員会)
ブロムフェノホス	動物用医薬品	肝蛭駆除	牛(搾乳牛を除く。)の肝蛭駆除に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準(いわゆる暫定基準)が設定されています。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中(最近の議事:25.6.21動物用医薬品専門調査会)
メチルプレドニゾン	動物用医薬品	消炎剤	ステロイド消炎剤で、日本国内で動物用医薬品としての承認はありません。ポジティブリスト制度導入に伴う残留農薬(いわゆる暫定基準)が設定されています。	動物用医薬品	委員会にて健康影響評価の審議結果了承。リスク管理機関(厚労省)に通知することとなった。(最近の議事:28.3.8委員会)
ワクチン添加剤	動物用医薬品	添加剤	評価要請され審議が終了していない添加剤4成分	動物用医薬品	委員会にて意見・情報の募集は行わないこととなった。(最近の議事:28.2.2委員会)
酢酸メレンゲステロール	動物用医薬品	合成ホルモン剤	合成ホルモン剤で、飼料効率の改善、体重増加率の増加、肉用牛の繁殖抑制に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準値が設定されています。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中(最近の議事:23.2.21専門調査会)